



名古屋大学
大学院国際開発研究科
Graduate School of International Development, Nagoya University

2015年度 公開講座

グローバル化の深化と情報通信技術の発展により世界情勢はめまぐるしく変化しています。グローバル化時代の貧困、環境破壊、災害、人権侵害、資源・エネルギー問題、テロや紛争は、世界全体を脅かしており、各国が協力して取り組む課題となってきました。本講座では、こうした国際協力分野に関連する諸問題を、特に法、政治、社会と文化の側面から解説します。

日時 2015年10月8・15・22・29日 11月5・12・19日
(木曜日・全7回) 18:30から20:00

会場 国際開発研究科8F 多目的オーディトリウム

受講料 無料(要申込)

講師 講師は全て国際開発研究科国際協力専攻所属の基幹教員

申込 逐次受付 メールまたは直接(下記HPから詳細を確認ください) <http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/global/>

スケジュール

10月8日	伊東早苗	開発援助はどこへ向かうのか
15日	日下涉	フィリピン台風被災と学生ボランティア―「弱さ」を反転させる国際協力
22日	岡田勇	今日の資源・エネルギー開発と途上国の視座
29日	島田弦	手の届く「法の支配」―新しい法整備支援としての「正義アクセス」アプローチ
11月5日	西川由紀子	混迷する国家と国際協力―経済・人間開発、民主化と武力紛争のダイナミズム
12日	東村岳史	戦後70年と被爆者・核エネルギー
19日	山形英郎	我が国の集団的自衛権行使容認と対テロ戦争

新時代の国際協力